

■米国：コネチカット州で小売メニューの急激な値上がりが問題に

コネチカット州司法長官と消費者保護団体が 2014 年 1 月 17 日、小売事業者の提供する電力メニューの急激な値上に注意を呼びかけた。調査結果によると、自由化している発電部分の料金について、標準的な価格（配電事業者が小売事業者を選択しない需要家向けに提供する標準供給価格）の約 2 倍に相当する額を支払っている需要家が相当数いるとされる。これは、価格変動型の料金メニューにおいて、冬季の市場価格高騰に応じた単価が設定されたのが原因であるが、中には、価格固定型メニューを選択していたのにも関わらず、更新時期経過後、変動型料金メニューへ自動的に移行され、その結果、高額請求を受けるケースもあった。公益事業委員会では、詳細調査と必要なガイドラインの設置を急ぐ考えを示している。